

平成28年度 地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
上矢部地域 ケアプラザ	(福)であいの 会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より生活支援体制整備事業が導入され、それぞれの職種の役割を踏まえて一層連携して各事業に取り組んでいます。また、上矢部地区センターと障害福祉サービス事業「であい」の複合施設であることから関係者からの相談にも対応したほか、地域の現状把握やネットワークの構築などのため所長や職員が地域の会議や行事などに積極的に参加している分、その際に寄せられる相談も多いようですが、各職種が連携して対応にあたっています。</li> <li>・毎月ケアプラザで防災対策の会議を開催し、防災に対する意識を高めています。特別避難場所訓練や合築施設と民生委員と連携して合同防災訓練を行ったほか、地域防災拠点の訓練にも参加するなど、地域の防災意識の向上にも努めています。</li> <li>・とつかハートプランでは、複数地区のハートプランの支援をしました。行事や会議の実施など、地域に寄り添い展開しました。</li> <li>・「みまもりネット」「みつけてネット」については、積極的に対応にあたっており、安心して暮らせるネットワークづくりの実現に向けて大きく貢献しています。</li> <li>・「上矢部ケアプラカード」を継続しており、2月末現在124人もの人が規定のポイントを満たして粗品を交換しました。これにより、地域の人々の地域ケアプラザへの事業の参加意欲を引き出し、閉じこもり防止にもつながっており、オリジナリティのある取組と考えています。</li> <li>・ボランティアグループ「いいじい」のメンバーが「いいじいカフェ」を開催するだけでなく、地域ケアプラザ自主事業やその他の介護予防事業へのサポートを行うなど、ボランティアグループの活動支援に力を入れており、ボランティアグループによる地域活動力を引き出しています。</li> </ul>

		<p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター職員が増員となり、新たな職員を入れた新体制で事業を行いました。主担当不在時でも対応できるよう、包括職員で日頃から情報共有し、相談者が安心して相談できるよう親切・丁寧な対応を心がけています。</li> <li>・地域の食事会、サロン、体操教室などできるだけ参加するようにし、地域住民や民生委員と顔の見える関係づくりを図り、包括の機能の説明をすることで、相談対応につながっています。</li> <li>・介護者のつどいは新規参加者も増えてきており、介護者同士の交流や辛さの共有などにより、元気を取り戻した介護者の方もいました。また、認知症に関するパンフレットをもとに情報提供を行いました。</li> <li>・個別地域ケア会議を実施し、個別地域ケア会議で抽出された課題を基に包括レベル地域会議を実施し、地域課題の整理と地域づくりについて民生委員、自治会長、関係機関等と共有することができました。</li> <li>・地域で活発に健康づくり活動が行われており、地域のボランティアの協力を得て、定期的に脳トレ、ハマトレ、はまちゃん体操を実施しました。</li> <li>・ケアマネジャー支援として、年6回事例検討、権利擁護、在宅医療等様々なテーマでケアマネジャーのスキルアップや情報交換を実施しました。</li> </ul> <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターが積極的に地域に出向き、地域資源リストを作成しました。</li> <li>・連合町内会に対し「地域活動・イベント状況」のアンケートを実施し、状況を把握しました。</li> <li>・地域に関する情報についてマップを活用し可視化を行いました。</li> <li>・地域ケア会議を活用して協議体を開催し、事業の説明と意見交換を行いました。</li> </ul>
--	--	---